

島根大学研究見本市

「Neutral Space」シリーズ / 絵画作品とインスタレーション作品制作

[Neutral Space]Series / Painting and Installation Works

研究者紹介

新井 知生 (教育学部・教授)

Tomoo ARAI (Faculty of Education・Professor)

概要

今日まで30年以上に渡り、アクリル絵具を使いいくつかの絵画作品シリーズを制作してきました。近年では、「Neutral Space」というタイトルで、作品を媒介として制作者と空間(宇宙)が一体化できるような感覚を求めて制作しています。またそれとともに、インスタレーション作品の制作にも携わっています。

Arai has been producing painting works as some series using acrylic for more than 30 years. Recently Arai is working as a series titled 〈Neutral Space〉 and is searching possibility of a sense of unity between the producer and the space mediated by the works. And Arai is producing installation works as well as paintings.

特色
研究成果
今後の展望

この30年間の絵画制作では、何回かのコンセプトとスタイルの変化を遂げて、現在「Neutral Space」というシリーズに至っています。このシリーズでは自己を解放し、無意識な絵具の流れや淀みなどを生かしながら、茫洋とした抽象画面を作りだし、そこから自己と他・外界(世界)とを往還し世界と繋がる感覚を、絵画として現出させることを模索しています。近年ではこのコンセプトをビニールに着色し吊るして展示するというインスタレーションも合わせて発表しています。

この成果は2年に1度ずつの個展と、年数回各地で開催しているグループ展で発表しています。

今後、このシリーズを継続し、絵画とインスタレーションの2つの表現形式で、作品を媒体として自己と外界が感覚的に繋がりを作品制作を続けていきたいと考えています。



「Neutral Space」No.19-記憶の森を歩く-他 15点
カラコロ工房個展 絵画作品展示 2011.9



「Neutral Space」No.20 -間(あわい)の領域-
カラコロ工房個展 インスタレーション展示 2011.9

キーワード

絵画制作、インスタレーション

リンク

<http://arai-neutralspace.com/>